

---

# 河北潟湖沼研究所通信

---

Vol. 5 No. 2

## 特定非営利活動法人として認証される



認証式に臨む（平成 11 年 8 月 25 日 石川県庁にて）

河北潟湖沼研究所は、去る 8 月 25 日に石川県より特定非営利活動法人（NPO 法人）としての認可を受け、新たな組織でスタートすることになりました。

NPO 制度は、欧米諸国ではすでに一般化し、普及発展しています。日本でもこれらの国々と同様に社会問題に対処するために法制化されました。これまでに様々な環境問題や福祉問題が拡大しています。21 世紀は環境重視の時代となるでしょう。

私たちは、この 5 年間、身近にある河北潟周辺の環境のあり方や、その方向性を探ってきました。そして、より良い環境を作りたいと考えて来ました。そのために、水質悪化の原因を調べ、解決策を考えて来ました。また、地域の経済活動と環境保護が両立する方法を

探ってきました。

河北潟湖沼研究所の研究や活動の内容は、水質浄化、地域の歴史、河北潟の生物相調査、オルタナティブテクノロジー、環境倫理、環境教育、食文化や国際交流など多岐に及んでいます。今までの活動を通じてわかったことは、こうした総合的な研究こそ環境を重視する社会作りが必要であったということです。

これまで私たちが実践してきた研究、活動をもっと充実させ、ますます幅の広いものに発展させていきたいと思います。河北潟湖沼研究所友の会会員の皆様のあたたかいご支援をよろしくお願い致します。（法人認可後初の友の会通信発行にあたり 1999 年 9 月吉日 特定非営利活動法人河北潟湖沼研究所理事長 大館小夜子）

## 河北潟共和国をふり返る - 再スタートに向けて.....

河北潟共和国アドバイザー 大館薫子

河北潟共和国建国は、これから環境問題の影響を最も受けるであろう若者が、自分達の未来をしっかりと考えて欲しいとの願いを込めて提案されました。若者自身が河北潟共和国を独立させ、自分の住みたい国を建国できるかどうか、私たちの関心の的でした。そのため私達は後方から彼らを援助しながら様子を見ることにしました。

この考えに耳を傾けてくれた私の妹、愛は恐る恐る他に呼びかけました。初めはたった1人、中学生が来てくれただけでした。あまりの少なさに彼女達は泣き出してしまいました。それでも懲りずに一緒に高校や市や町にチラシを配ったり、ポスターを貼ったりして呼びかけました。その結果、1ヶ月後、数人の高校生や、外国人が参加してくれました。

その後たくさんその後継者ができ、この5年間で開催された共和国の行事は、大変多彩で活発なものとなりました。これまでのべ300人以上の中学、高校生や外国人が参加しました。参加者は独立国家の行事を行うために国会を開催し、最高機関で決定された行事や学習会を行いました。河北潟や海岸に出かけ、現状を確認しました。また、文化芸能発表や、料理での国際交流活動も行いました。

活動をして行くなかで、自分達に身近なはずの河北潟について全くといってよいほど何もわからないことに気がしました。そこで河北潟周辺の過去の様子を知るために、地元の人のお話を聞いたり、町史や河北潟湖沼研究所の先生方によって書かれた資料を見たりしました。その結果、かつての河北潟では活発に漁業が行われ、シラウオやシジミがとれ、豊かな食文化があったことがわかりました。現在の河北潟との格差に、その驚きは大変なものでした。

河北潟を見て回ると釣りをする人はいますが、一般の人が子どもと一緒に余暇を過ごす場としては河北潟あまり魅力がないと感じました。水の汚れがひどい、ゴミが多い、護岸が危険、日陰など休む場所がない、水生植物や魚類などの自然が単調であるなど、自分達との距離が遠かった理由もわかりました。河北潟のゴミが堆積した場所では、フナなどの

魚の死骸が浮いているのを見つけました。さらに驚くことには、自動車が分解されて意図的に捨てられていたことも聞きました。釣人が放置する釣針や釣糸によって、魚や鳥が被害を受けていることも知りました。このような現状を知って、ゴミを拾うボランティア活動が空しく感じられたこともあります。

河北潟で釣った魚を進んで食べてみようと思えるくらいに、きれいな水をよみがえらせられないだろうかと話しました。そして、かつてはきれいであった河北潟を汚れたまま放置しておくこと自体が問題であるとの意見が出されました。「自然豊かな河北潟の姿を私たちも見たい！」共和国の若い仲間のそんな気持ちは素晴らしいと思いました。そんな彼らの前向きな気持ちを大切にしたいと思っています。さらに、「社会や政治にも目を向けなければ」と語った仲間もいました。

環境問題の大きさを知り、自分達の無力さを感じました。それでも共和国活動を通じて、「あきらめずに何かをしなければならぬ」と考える若者が巣立って行ったと思います。私自身、自分ができることを始めることの重要性、そして行動のできる人作りが共和国の目的でもあることを確認した気がしています。

私達はこれからも河北潟共和国を作ろうとする若者を応援し、河北潟湖沼研究所の先生方と共に地域の環境を見つめることの大切さを伝え続けたいと考えています。河北潟湖沼研究所が特定非営利活動法人となった今、河北潟共和国活動も再スタートします。共和国活動に参加して下さる仲間を募集しています。



## 河北潟で夏休みの宿題を作りました

内灘町立鶴ヶ丘小学校 3年 大家航平

内なだ図書かんで自ぜんかんさつ会があることを知りました。8月1日(日曜日)おとな10人ぐらいと子どもふたりで車にのせてもらって河北潟を広く見てまわりました。水の中には、いろいろな生きものがいておもしろかったです。たくさんことを教えてもらいました。そしてぼくは、図かんでいろいろとしらべてみようと思いました。

ぼくがつかまえたカエル

- ・ヒキガエル 後ろ足が短く歩いてい動する。りく上にすみ、地中で冬みんする。
- ・トノサマガエル ほおを大きくふくらませて鳴くトノサマガエルは、水田や小川にすむ。ジャンプ力があり、ひととびで水にとびこめる場所にいることが多い。泳ぎがとく意。

このほかにも、メダカ、ドジョウ、アメンボやヌマエビをつかまえました。

また、8月21日(土)には、河北潟でこん虫を見つけひょう本づくりをしました。つかまえたこん虫は、モンシロチョウ、ベニシジミ、ジャノメチョウ、ハサミムシ、トノサマバッタ、オカメコオロギとナガヒョウタンゴムシです。



河北潟には、たくさんのダイサギやアオサギが長い足をして、水べを歩き回っていました。ぼくは、河北潟にすんでいるたくさんの生きものをこれからもかんさつしたいと思いました。

河北潟の水辺では、大家君が捕まえたような水生生物に出会うことができます。運が良ければ、タイコウチやミズカマキリを捕まえることもできます。また干拓地内には、石川県平野部で普通に見られる昆虫が生息しています。みなさんも、生物観察や採集の場として、河北潟を訪れてみてはいかがでしょうか？(通信編集部)

みんなで発見  
「河北潟」自然観察会  
第7回 8月18日(日) 9時から  
(高橋船庫の前)日曜日に実施予定！

夏の水辺を  
のぞいてみよう  
そこにはゆかいな生き物が...  
夏休みの自然観察に  
昆虫採集などいかがですか？

日時 8月18日(日) 午前9時  
◎集合場所 河北潟干拓地1号芝道 内灘町水辺浄化課緑地広場  
◎注意 雨天でも実施します  
汚れてもよい服装で、水筒・帽子など持参のこと  
◎料 金 1200円定  
◎参加費 100円(保険代)  
◎問い合わせ 河北潟環境研究員  
☎ 076 (281) 8800

主催 河北潟環境研究員  
東北農林局  
どなたでもお気軽に、ぜひご参加ください！

## 河北潟湖沼研究所最近の活動

### 特定非営利活動法人として認証される

所定の手続きを経まして8月25日（水）河北潟湖沼研究所は特定非営利活動法人として認証されました。同日、石川県庁にて認証式（1ページ写真）が行われました。

### 第7回「河北潟」自然観察会を開催

15名の方が、8月1日（日）に開催された第7回観察会に参加しました。今回はピオトープ池、西部承水路蛭児橋付近と宇ノ気町水辺公園で水辺の小動物の観察をしました。また夕モ網を使ってアメリカザリガニ、ドジョウ、トノサマガエルやタイコウチの捕獲にも挑戦しました。

2ヶ月ごとに開催してきたこの自然観察会もおかげさまで1周年をむかえることができました。

## イベントのお知らせ

### 河北潟湖沼研究所設立5周年記念シンポジウム

11月27日（土）から28日（日）にかけて、河北潟湖沼研究所設立5周年を記念するシンポジウムを開催します。

会場：石川県女性センター（金沢市三社町）  
金沢市市民芸術村（金沢市大和町）

内容：

- ・シンポジウムI 27日 17時～21時  
干拓と潟湖
- ・シンポジウムII-1 27日 21時～24時  
干拓がもたらすもの
- ・シンポジウムII-2 27日 21時～24時  
河北潟自然公園化計画
- ・シンポジウムIII 28日 10時～12時  
河北潟湖沼研究所（NPO）に期待するもの（シンポジウムIとIIIはパネルディスカッション、IIは座談会形式で行われます。）

参加費は無料ですが、シンポジウムIおよびIIの食事（希望者のみ事前申し込み）の料金は各1,000円です。

「友の会」会員の方には、すでにこのシンポジウムの案内を別送させていただきました。

シンポジウムについてのお問い合わせは、  
**〒920-0267 石川県河北郡内灘町大清台302 河北潟湖沼研究所** FAX：076-286-2622 または E-mail：[odachi@p2222.nsk.ne.jp](mailto:odachi@p2222.nsk.ne.jp) まで。

一部のシンポジウムへの参加も可能です。参加申し込みの締切りは11月1日（月）です。

### 第9回「河北潟」自然観察会

恒例の観察会を以下の通り実施いたします。今回は、冬場の渡り鳥の観察が中心となる予定です。

日時：12月5日（日） 午前9時～12時

集合場所：河北潟干拓地第1号支道

内灘町水質浄化実験施設前

参加費：100円（保険代）

自然観察会についてのお問い合わせは、**河北潟湖沼研究所金沢事務局 TEL：076-261-6951**まで。どなたでもお気軽にご参加下さい。

## 参加者の募集

### 河北潟共和国

2ページでも紹介しました「河北潟共和国」の参加者を募集します。今後の共和国活動としてはまず、11月の記念シンポジウムで世界各国の料理作りを行います。

「河北潟共和国」についてのお問い合わせは、**河北潟共和国事務局 〒920-0267 石川県河北郡内灘町大清台302 TEL/FAX：076-286-0433**まで。

特に、高校生の参加をお待ちしております。

## 事務局からの連絡

現在、「友の会」の会則案を作成中です。これにより「友の会」の目的や活動内容を明確なものにしていきたいと思っております。この会則案は次号の通信とともに送付する予定です。

また、事務局では、この通信や「友の会」のイベントに関するご意見をお待ちしております。

河北潟湖沼研究所通信 VOL.5 NO.2

1999年9月30日発行

発行所 河北潟湖沼研究所友の会

〒920-0051 石川県金沢市二口町八58

TEL 076-261-6951

FAX 076-265-3435

